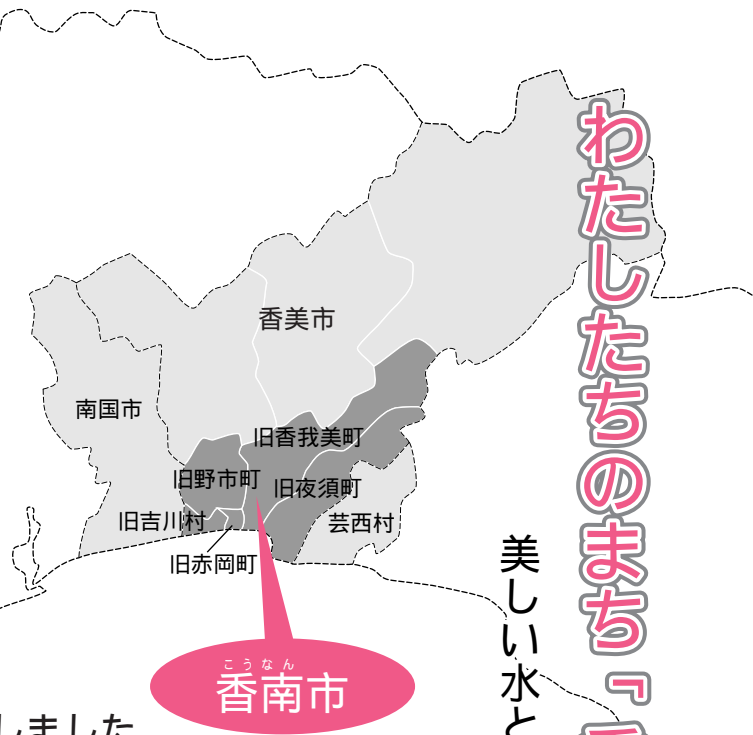


香南市の面積・人口

人口と世帯数と面積(平成18年2月28日現在)

名称	人口	世帯数	面積
香南市	34,276人	13,469	126.71km ²
旧赤岡町	3,485人	1,650	1.64km ²
旧香我美町	6,445人	2,381	58.89km ²
旧野市町	17,928人	6,747	22.89km ²
旧夜須町	4,340人	1,707	39.04km ²
旧吉川村	2,078人	984	4.25km ²



わたしたちのまち「香南市」

美しい水と緑と風に包まれ 元気で豊かに光るまち

こうなん 香南市

平成18年3月1日に香南5町村は合併をしました

旧赤岡町は藩政時代、「赤岡の塩市」として栄え、商工の町として最も繁栄し、明治32年に町制が施行されました。海上から見ると一帯が赤く盛り上がった丘のように見えたことから「赤岡」と呼ばれるようになり、地形は総合的に平坦で、北方に須留田山、香取神社、轟山など標高20～30メートルの丘陵が変化と緑を見せています。

旧香我美町は昭和30年に1町5村が合併して香我美町が誕生しました。「香我美町」という町名は、土御門上皇が月見山からはるか京をのんで詠んだ「かゞみのや...」の歌に由来しています。全面積の約67%が森林で、香宗川が町の中央部を屈曲しながら流れています。海岸から山間地域までの変化に富んだ地形と豊かな自然に恵まれた町です。

旧野市町は「野の市」として正保元年(1644年)野中兼山によって命名され、昭和30年1月1日に野市町、佐古村、香宗村、富家村の4町村が対等合併した後、同年4月1日に旧佐古村の逆川と戸板島が土佐山田町に編入され、誕生しました。

野市町は、物部川に沿った豊かな香長平野の中枢に位置し、江戸時代、野中兼山によりかんがい施設が整備され稲作が盛んな穀倉地帯として発展し、近年は高知市のベットタウンとして著しい人口増加を続けています。

旧夜須町は名前の由来は数説あるが、昭和18年、町制を施行して夜須町となり、昭和30年には旧東川村の細川・羽尾・所沢・仲木屋地区を編入して現在に至っています。両側を山に囲まれた南北に細長い夜須町は、森林が総面積の72%を占めており、南部の農地は古くから施設園芸が盛んです。

旧吉川村は昭和22年、吉原村と古川村が合併し、吉原村の「吉」と古川村の「川」を1文字ずつ取って、吉川村となりました。物部川下流の東岸に広がる小さな村で、南は土佐湾に面し、村の北東部にある標高45メートルの丘陵を除くと、すべてが平坦な田園地帯。豊富な水と温暖な気候風土に恵まれ、花や野菜の栽培が1年を通して行われています。

編集後記

私は、三月より広報担当になりました松田です。広報誌作成という仕事を今まで一度も経験したことがありませんので、不安でいっぱいですが、住民のみなさんに広報「こうなん」を毎月、楽しみにしていただけるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。(松田由香利)

『広報のいち』から参りました。あろうことが記念すべき閉町号で感謝状受賞者の方の年齢を間違つて掲載してしまい大変失礼しました。合併して、日めくりカレンダーがパラパラとめくれるような毎日3人寄れば...!でお詫びと訂正のないよう頑張ります。(井上由美)

広報「わたしのまち」に引き続き、広報を担当させていただきます。今回、四月号に合わせて機構図を製作してしましたら、選挙の関係で五月号への掲載となりました。不自由をおかけしますがよろしくお願いたします。(田中菜生)

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp